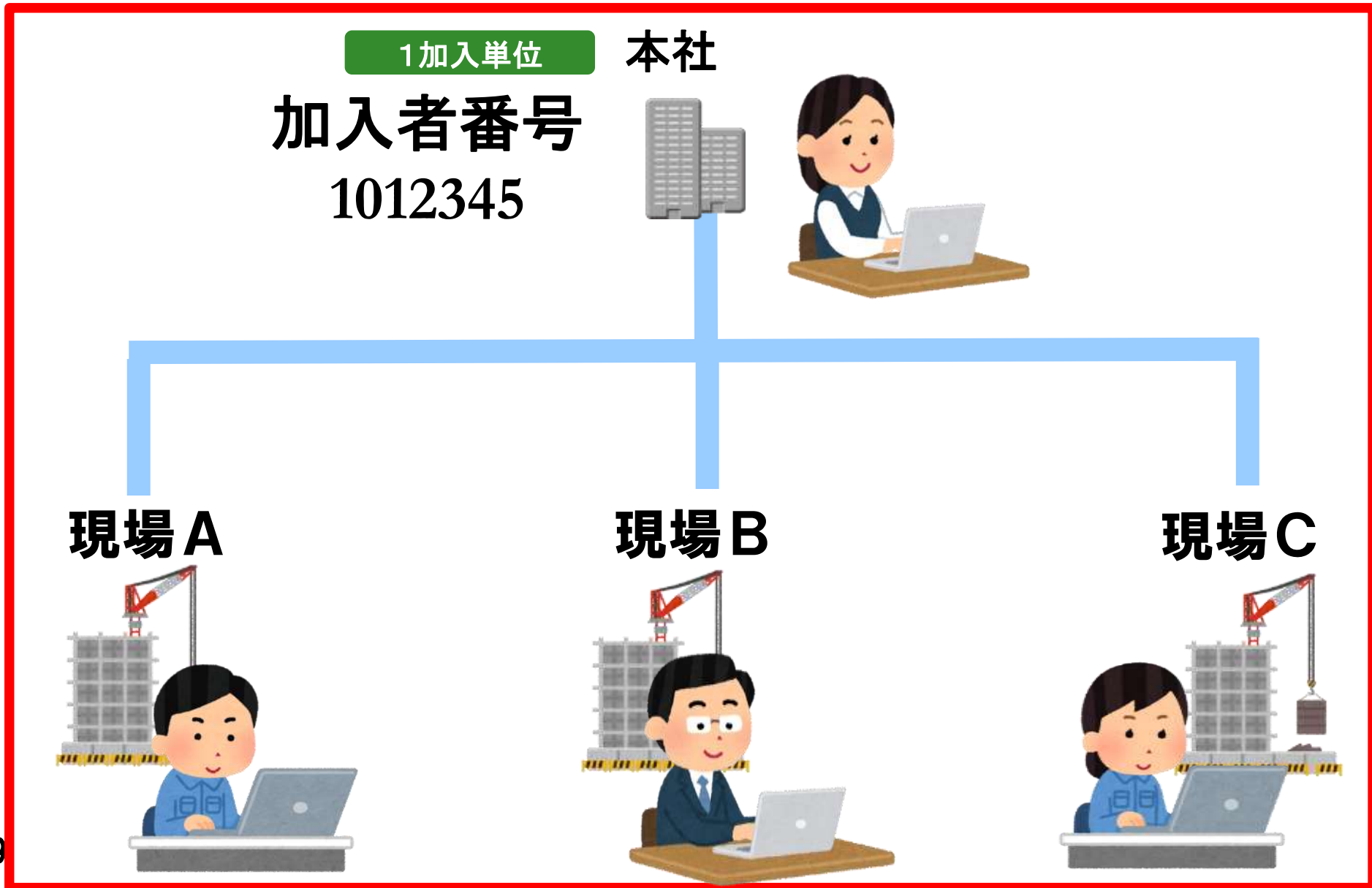


加入例①：本社で加入し現場事務所でマニフェスト登録



サブ番号とは

加入者番号
1012345



本社

現場 A



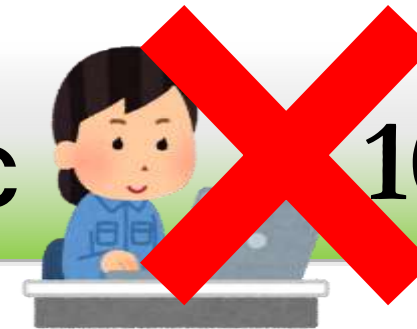
1012345

現場 B



1012345

現場 C



1012345

サブ番号とは

加入者番号末尾に2桁追加し、1アカウントで複数名が同時ログインできる仕組み

加入者番号

1012345



本社

現場 A



1012345 01

現場 B



1012345 02

現場 C



1012345 03

加入例①：本社で加入し現場事務所でマニフェスト登録

1加入単位

本社

加入者番号

1012345



現場 A

現場 B

現場 C



サブ番号

101234501



サブ番号

101234502

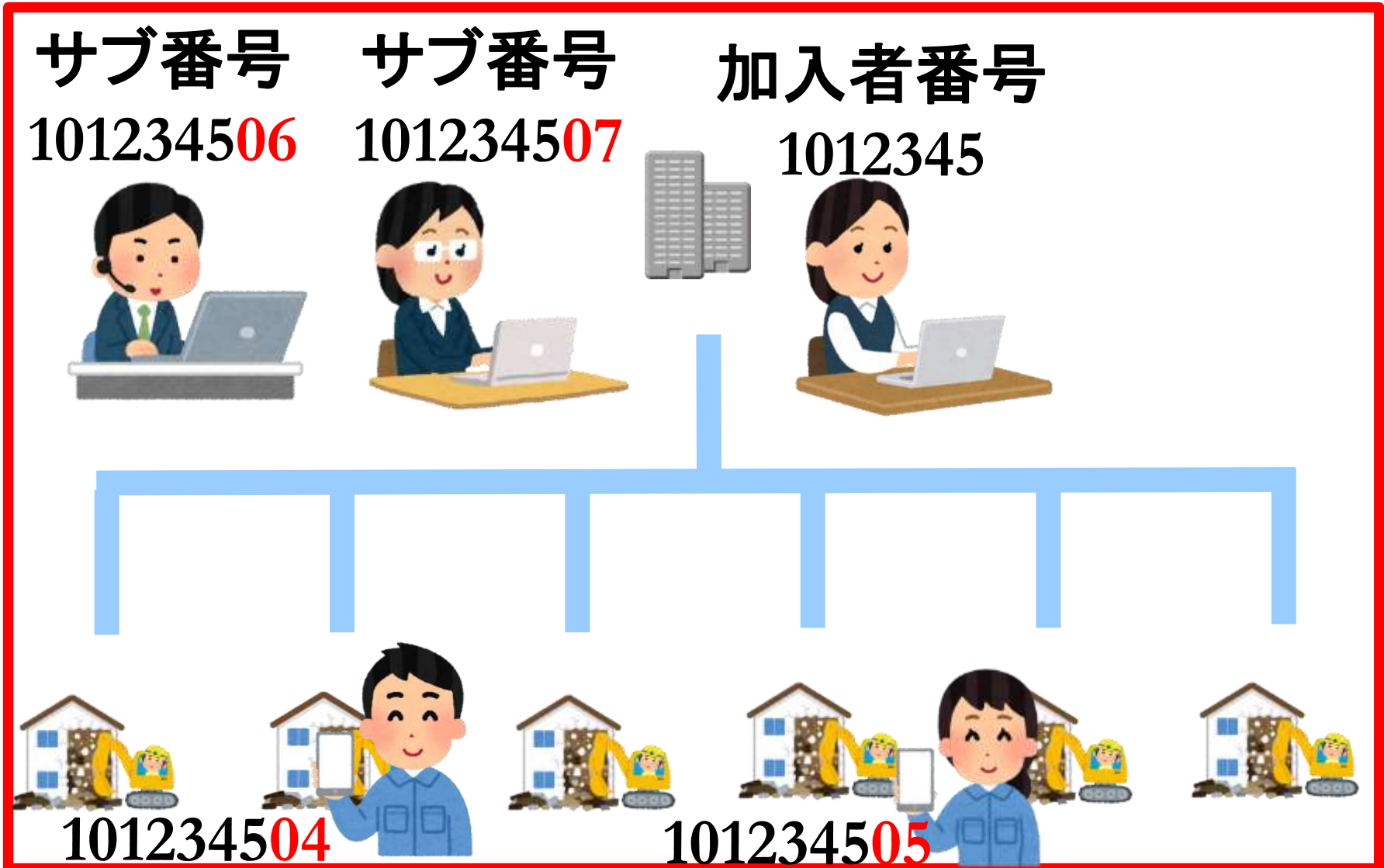


サブ番号

101234503



加入例①：本社で加入し本社に情報を集約



加入例②：排出事業場を管轄する支店毎に加入

本社

A支店用サブ番号	100000101
B支店用サブ番号	100000201
C支店用サブ番号	100000301



1加入単位

A支店
加入者番号
1000001



A支店管轄
排出事業場

1加入単位

B支店
加入者番号
1000002



B支店管轄
排出事業場

1加入単位

C支店
加入者番号
1000003

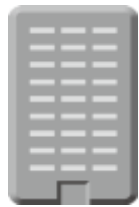


C支店管轄
排出事業場

加入例③：共同企業体（JV）として受注時

ABCD共同企業体（JV）

排出事業場名称を●●ビル建設JV（A建設 B建設 C建設 D建設）



A建設（JV代表）
JWNET加入



B建設
JWNET加入



C建設



D建設

- 複数の建設業者が、共同企業体（JV）として建設工事を受注場合
JVの代表者がJWNETに加入していれば、代表者の1社の加入で運用可能。
- JVとして事業を受注する毎に加入する必要はありません。

②利用料金－排出事業者－1

税込

料金区分	A料金	B料金	団体加入料金 (C料金)※
基本料 (年額)	26,400円	1,980円	110円
使用料 (登録情報1件につき)	11円	(90件までは無料) 91件目から 22円	(5件までは無料) 6件目から 22円
メリットがある 年間登録件数	2,401件～	～2,400件	—

団体加入料金(C料金)とは

以下の「団体加入の条件」を満たすことにより、団体加入者1者の年額基本料が110円と使用料(5件まで無料)で利用できる、マニフェスト登録件数が少ない排出事業者向けの加入体系です。

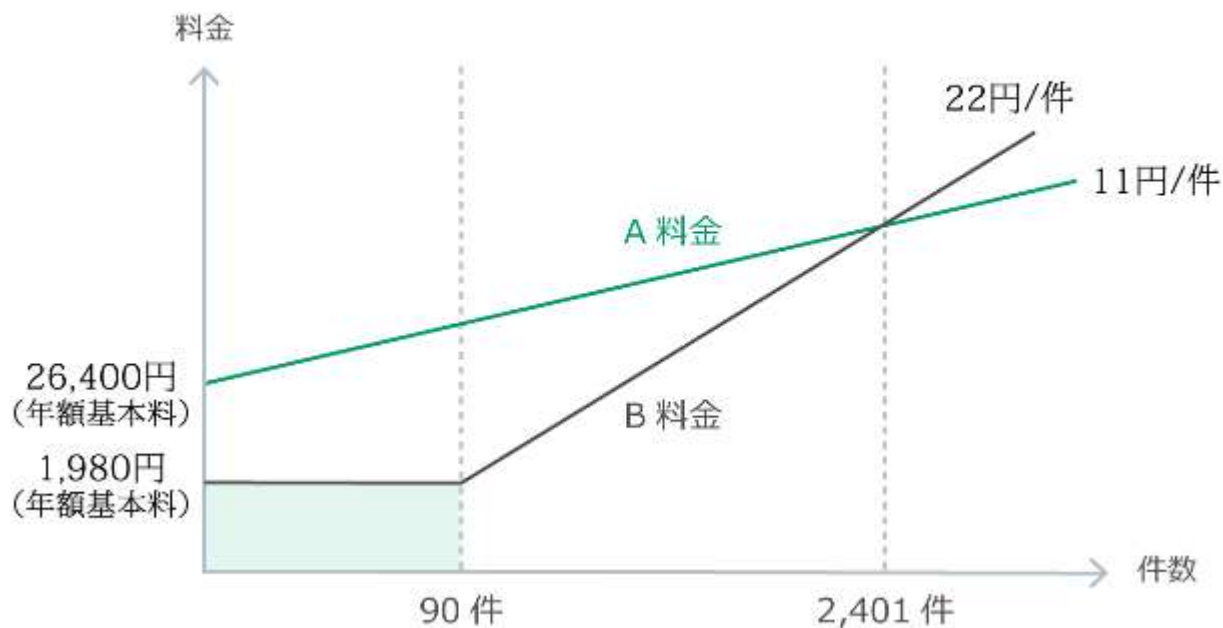
STEP3

利用する料金区分の選択

① 利用料金－排出事業者-2

A料金とB料金の比較イメージ

対象： 排出事業者、処分業者（2次登録機能の利用） ※下図は排出事業者の場合



②利用料金－収集運搬業者、処分業者

税込

料金区分	収集運搬業者	処分業者 ※1		
		①処分 (報告機能のみ)	②処分(報告機能+2次登録機能)	
			A料金	B料金
基本料※2 (年額)	13,200円	13,200円	26,400円	13,200円
使用料 (登録情報 1件につき)	—	—	11円	(90件までは無料) 91件目から 22円
メリットがある 年間登録件数	—	—	1,381件以上	1,380件以下

(2021年4月時点料金表)

※1 ① 処分終了報告、最終処分終了報告を行う機能のみの料金

② ①の機能と併せて、中間処理後の残さを電子マニフェスト登録(2次マニフェスト)する機能の料金

A料金、B料金を選択:年間1,381件以上2次マニフェストを登録する場合はA料金の方がお得。

※2 基本料の1年間の金額は、4月から翌年の3月末までの期間に適用されます。年度の途中で加入する場合、初年度の基本料は月割りで請求いたします(利用を開始した月によって金額が異なります)。

参考 1

利用料金の支払いについて

1. 請求時期

【基本料】排出・収集・処分 共通

新規加入者	加入申込した月の翌月に基本料を請求します。
既加入者	当該年度の4月上旬に請求します。

【使用料】排出及び処分(2次登録A・B)のみ

A料金加入者	A料金の使用料は6月、9月、12月、3月の月末で精算し、当該月を含む過去3ヶ月分を、その翌月上旬に請求します。
B料金加入者	B料金の使用料は、3月31日で精算し、登録(予約登録、取消を含む)件数90件(加入初年度は利用開始月によって件数が変わります。)を超えて使用した分を次年度の4月上旬に請求します。
C料金加入者	C料金は1年間分(4月～3月)を3月末で精算し、登録(予約登録、取消を含む)件数5件を超えて使用した分を次年度の4月上旬に請求します。利用代表者へ4月に請求します。

2. 支払時期

支払方法	支払時期	例
振込の方	請求の翌月の月末	4月請求⇒5月31日までにお振込み
引落の方	請求の翌月8日に自動引落し	4月請求⇒5月8日に自動引落し

※請求書及び口座振替通知書はJWNET(マイページ)からダウンロードしてください。

参考 2 請求書(口座振替通知書)印刷

請求書は、JWNETログイン後、マイページから請求内容の確認とダウンロードができます。

- ① JWNETポータル→マイページ→請求メニューをクリック
- ② 【最新請求情報】をクリックします。
- ③ 請求書のPDFファイルが表示されている場合、ファイル名をクリックすると、請求書のダウンロード・ご確認ができます。
- ④ 請求書のPDFファイルが表示されていない場合、画面下部の【請求書再発行】をクリックしてください。
15～30分程度で画面上部にPDFファイルが表示され、請求書のダウンロード・ご確認ができます



加入者最新請求情報 USR0002100

請求書の作成日から10日以内は、以下の「ファイル名」の欄に請求書のファイルが表示されています。
以下の欄に表示がない場合は、画面下の「請求書再発行」ボタンを押してください。
※「請求書再発行」ボタンをクリックすると、15分から30分程度で請求書が作成されます。ダウンロードには画面の再表示が必要となります。

5 再表示

No.	帳票種別	ファイル名	説明				
お支払い方法: 振込							
ファイルの表示がない							
請求情報							
日付	請求番号	繰越額	今回ご利用額				
20210406	F210400020014	0	13,354				
			ご請求額 13,354				
1/1ページ (合計件数: 2件)							
内訳(当月請求分)							
料金内訳	期間	数量	単価(円)	金額(円)	消費税(円)	合計(円)	備考
基本料	2021年04月～2022年03月	1	1,800	1,800	180	1,980	掛出日
使用料	2020年04月～2021年03月	517	20	10,340	1,034	11,374	掛出日使用数(607)
1/1ページ (合計件数: 2件)							
請求書表示内容変更							
任意 会社名(全角8文字まで)	会社名を変更する場合は入力						
任意 代表者名(役職名含む) (全角20文字まで)	印字名及び氏名を変更する場合は入力						
基本料と使用料を分割して発行	<input checked="" type="radio"/> 分割しない、 <input type="radio"/> 分割する						

※留名(会社名、代表者名)の変更は一時的な変更です。

STEP4

運用方法の検討

電子マニフェスト運用を円滑に実施するため、排出事業者、収集運搬業者、処分業者間で、以下の項目について検討・調整し、ルール化しておくことで運用がスムーズになります。

【検討すべき事項】

- (1) 受渡確認票(伝票)の活用
- (2) マニフェスト登録する日時
- (3) 数量確定者

(1) 受渡確認票（伝票）の活用

電子マニフェストの運用においても、法令に基づき紙の伝票が活用されています。以下の役割・用途で伝票（書面）が利用されています。

- ① **廃棄物の受渡し確認の記録としての役割**
 - ・ 廃棄物の受渡しの控え、処分業者受入時の確認用書面
- ② **マニフェスト登録・処理終了報告の入力用原票としての役割**
 - ・ パソコンに情報を入力する際の作業用伝票
- ③ **収集運搬業者が運搬時に携帯する書面としての役割**
 - ・ 運搬途中、警察等からの検問に対する荷物の証明
 - ・ 法令で定める産業廃棄物の運搬車に備え付ける書面（電子情報でも可）

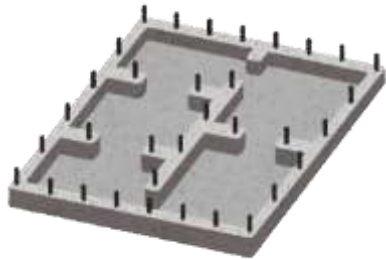
受渡確認票とは・・・

- 受渡確認票は任意の伝票であり、法で規定する様式はありません。また保存義務等はありません。
- この受渡確認票は、上記③の用途から収集運搬業者が持参・準備するケースが多くなっています。
- 予約登録（後述）することにより、受渡確認票（伝票）は電子マニフェストシステムから印刷できます。

① 廃棄物の受渡し確認の記録としての役割

排出事業場で廃棄物を引渡すとき、処分場へ搬入するときの確認用に使います。

排出事業場での確認



処分場搬入時の確認



② マニフェスト登録・処理終了報告の入力用原票としての役割

現場で引き渡した廃棄物の内容を、事務所に帰って電子マニフェストに入力する際のメモとして活用します。



排出事業場



事務所に持ち帰って入力



事務所